

春に多い病気

1. 花粉症
2. 水痘（みずぼうそう）
3. 過敏性腸症候群
4. 春の女神症候群



1. 花粉症

スギ花粉症→ヒノキ花粉症と5月のゴールデンウィーク頃まで続きます。

1月下旬からすでに治療を開始している方もいます。

くしゃみ、鼻水、鼻づまりが3大症状です。

目がかゆい、鼻がムズムズするとなったら、病気を疑って下さい。

西洋薬、漢方薬のいずれか、両者併用も可能です。

症状が重症化してから治療していると追いつきません。

早めに開始して薬を調整するぐらいの余裕がいいですね。



2. 水痘

水痘ウイルスによる感染症です。潜伏期間は2週間です。

周囲に水痘の人がいたら、2週間後に発症する可能性があります。

現在小児期に水痘ワクチンを2回定期接種するので、将来的には外来で

水痘のお子さんを診る機会は減るでしょうね。

水痘ウイルスは感染力が強く、ウイルスをもらうとほぼ発症します。

からだに赤い丘疹(ブツツ)ができ、水疱→膿疱→痂皮化(かさぶた)となります。

その間約1週間です。

ごくまれですが、脳炎、肺炎を合併することがあります。

3. 過敏性腸症候群

①便秘型 ②下痢型 ③混合型 ④分類不能型 があります。

西洋医療的治療法としては、特効薬はありません。

次々と新薬が発売されていますので、自分の症状に合えばありがたいです。

漢方薬では①②③④ともに対応する漢方薬があります。

例えば…



①便秘型	桂枝加芍薬大黃湯
②下痢型	半夏瀉心湯、人參湯、真武湯
③混合型	桂枝加芍薬湯
④分類不能型	当帰四逆加呉茱萸生姜湯、香蘇散

4. 春の女神症候群（池野一秀先生、2003年）

①入学試験、新入学 etc に伴う生活の変化とストレスで、それまで目立たなかった不定愁訴がいつせいに現れる。

②早春から梅雨時にみられ、圧倒的に女性に多い。
ex.頭痛、めまい、動悸、パニック発作、抑うつ状態など
→漢方薬、西洋薬を駆使して対応します。



3月3日は開業記念日です

ありがとうございます。

また今年も開業記念日を無事に迎えることができました。

また新たな気持ちで患者さんの御要望にお応えできるように精進します。



お知らせ

小児夜間急病センター当番日 3月10日(金)

19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

休診日のお知らせ 3月8日(水)

院長の都合により休診します。よろしくお願ひします。